こんにちは　日本共産党杉並区議会議員

酒井まさえです

２０２１年７月２９日　№９６　**連絡先**　日本共産党杉並区議団控室　3312-2111
０９０-９３２５-５６７６　sakaimasae.0507@gmail.com

政府は、核兵器禁止条約に署名・批准を！

原水爆禁止平和行進が開催されました

７月21日、原水爆禁止国民平和行進が取り組まれました。

コロナ禍ということで、規模も縮小し、歩く距離も区役所から中野区の杉山公園までとなりました。

集会では、各団体の代表者が、取り組みを話し、杉並区からも、区民生活部の参事が挨拶しました。

党区議団は団長が、今年６月４日の区民生活委員会において、３つの区民団体から出された「核兵器禁止条約の署名・批准を杉並区議会として政府に求める陳情」が自民、公明、無所属が反対し、不採択となってしまったことを報告しました。引き続き一日も早く、日本政府が「核兵器禁止条約に署名・批准」するよう活動していく決意を述べました。

７月２１日区役所前の集会

杉並区は、原水爆禁止署名運動発祥地であり、１９８８年には「平和都市宣言」、２０１２年は平和首長会議に加盟しています。

区としても、政府に核兵器禁止条約に署名・批准するよう求めるべきです。

私たち区議団も、杉並区民のみなさんと共に平和のため頑張って行きます。

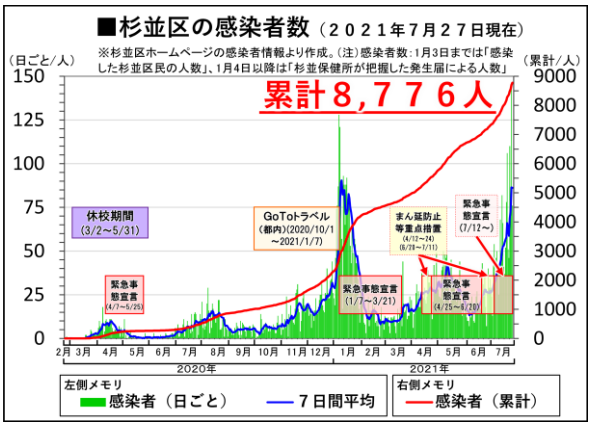
７月２１日の集会参加者

東京のコロナ感染者過去最多に

７月２８日の新規感染者

3177 人　１週間前より 1345 人増

今からでも五輪は中止をするべき



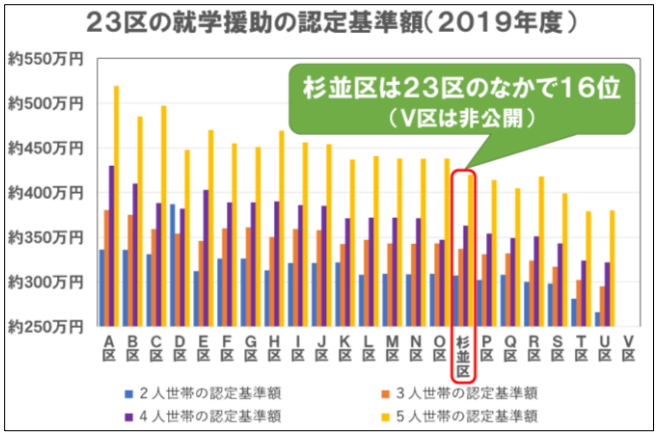
区の認定基準額は２３区中、１６位…

他区に比べ低い認定率 就学援助制度の拡充を求め

基準額の低さが原因

子どもの貧困が問題となるなか、貧困の連鎖の解消のためにも生活困窮世帯への教育費負担の軽減は喫緊の課題であり、就学援助の拡充は待ったなしです。

杉並区はそうした状況に逆行し、就学援助の認定基準を改悪してきました。そのため区内の小中学生に対する就学援助認定者の割合（**認定率**）は**23区中16位と極めて低い状態です。**しかし、区は認定基準の改悪が、認定率低迷の原因とは認てきませんでした。



こうした実態を明らかにするため、党区議団は都内自治体への独自調査を実施、同一条件での基準額を比較しました。（グラフ参照）

その結果、杉並区の認定基準額の水準は23区中17位であり、他区に比べ受給条件が厳しいことが明らかとなりました。世帯構成も年収も同じなのに、杉並区に住んでいることで公的支援である就学援助が受けられないという状況が発生しています。

党区議団は第2回定例会一般質問で、調査結果のグラフを示し、認定基準額の改善を求めました。

区は認定基準額について「現時点で直ちに引き上げるとの判断には至っておりません。」としつつ、「他区の状況につきましては、これから把握して調査していきたい」との認識を示しました。区が他区の状況を確認すると明言したことは、認定基準引き上げに向けた大きな一歩です。

入学準備金も低水準

認定基準額だけでなく、就学援助で小中学校の新一年生に支給される入学準備金についても、他区より低水準となっています。

杉並区の入学準備金は、小学一年生は4万7410円で23区中19位、中学生は5万3440円で23区中、23位です。

中野区や世田谷区、豊島区などでは、小学生が6万4300円と、杉並区より1万7000円も高く、中学生では8万1000円と2万8000円近く高い金額が支給されています。

今後も党区議団は、入学準備金の改善・拡充、就学援助受給世帯の拡充を目指して頑張ります。

健康の話 夏を元気に過ごしましょう

前回は、夏はなぜ疲れるかをお話しました。①暑さのため体温調節にエネルギーを使うから。②冷房の効いている部屋と外との温度差によること。③紫外線の影響などから疲れて、夏バテの原因になります。

それでは、夏を元気に過ごすにはどうすればいいか。前回は入浴をおすすめしましたが、3点上げてみます。

① **疲れを残さない質の良い睡眠をとるようにすること。**熱帯夜の時は、冷房と扇風機をうまく使い冷やしすぎないように。

② **運動で汗をかく習慣を。**夏場に適度な運動で汗をかくことは、暑さへの耐性が付き、暑さと冷房で狂いがちな体温調節機能が改善するので効果的です。早朝や夕食後など涼しい時にウオーキングがおすすめです。

③ **必要な栄養補給で体力をつける。**食欲増進のための工夫が大事。しょうがや大葉などの香味野菜を使ったり、カレーなど香料を利かせた料理は食欲を増進します。

冷たい飲み物を多くとると、胃腸を弱めてしまうことがあるので要注意です。

引き続きコロナ感染には注意を。お困りのことがありましたら、酒井にご相談ください。